



我靈今東京府知事ニ向テ東京ノ中華市區ヲ定メ其結果

拂テ良スベシト云フハ彼ノ誕生ノ地元屋敷ノ如

キ方法ニ依ルベシト云フコアラス時中央市區ノ關

チ製シテ屋内居住ノ富貴ニ告示マテ後此ノ家ヲ建

テ此ノ處ニ居者有ル者ハ此圖ニ依ルベシ

アリテ此ノ處ニ居者有ル者ハ此圖ニ依ルベシ

テ此ノ處ニ居者有ル者ハ此圖ニ依ルベシ

テ此ノ處ニ居者有ル者ハ此圖ニ依ルベシ

ハ各自隨意ノ改異ニ着手シテ萬々處ミテ數年ノ後其

体貌ノ完全ナラアルナ憂ヘテ大ヨ之ヲ改メトスル

ナ府内住民ニ明示シテ從フ所ナ知ラシタザルニ於テ

モ其費用ニ堪エズギテ止ム「アルベシ中央市區ノ改

良ニ甚シ居時ニ其中央直區ノ定メ其國式

ハ各自隨意ノ改異ニ着手シテ萬々處ミテ數年ノ後其

定メ今日ニセサセタカナルナリ

## 雜報

明治十五年五月廿一日

月曜

日

事

報

○國幸　紙上に墨鏡せし如く一昨十九日　要上  
られ御前九卿侯居御門御陪奉は徳大寺當内卿より  
て宮内の諸官吏奉事し御親會館の國幸もらせられた  
り同日ハ年前八時正副館長、學習院長、特選幹事以下  
職員及ひ華族一同フロクコート着用參集し有栖川、  
小松、伏見、北白川の四宮三條太政大臣、岩倉右大臣、  
大木、大山、山縣、山田、松方、川村、西郷の七參議等臨  
席と歎す　要上より一同へ御對顔わらせられ畢て御親會  
館其他參集の諸君と共に奉迎場より整列す九時二十分  
着御前達、東久世の兩館長御休息所へ先導し奉り茶  
葉を取す　要上より一同へ御對顔わらせられ畢て伊達館長は出  
御親會館へ御親會館規定(及ひ議員名簿を奉け  
先頭に奉る御親、太政、參議其他供奉の官員扈從して  
御親會館へ出御前達以下一同敬禮直に議事を聞く御親會  
場へ入御親會館と清ませられ午後一時再び伊達館長  
等華族試合と天覲遊され畢て御休息所へ及び御親會  
と清ませられ御親會館へ出御親會館へ出御親會館へ  
時、伊達館長は右御親の爲り宣ふ御内より  
りたうと

○開港式　六國通商會議賞授與式は義本日暮行  
先頭に奉る御親、太政、參議其他供奉の官員扈從して  
御親會館へ出御前達以下一同敬禮直に議事を聞く御親會  
場へ入御親會館と清ませられ午後一時再び伊達館長  
等華族試合と天観遊され畢て御休息所へ及び御親會  
と清ませられ御親會館へ出御親會館へ出御親會館へ  
時、伊達館長は右御親の爲り宣ふ御内より  
りたうと

○開港式　六國通商會議賞授與式は義本日暮行  
先頭に奉る御親、太政、參議其他供奉の官員扈從して  
御親會館へ出御前達以下一同敬禮直に議事を聞く御親會  
場へ入御親會館と清ませられ午後一時再び伊達館長  
等華族試合と天観遊され畢て御休息所へ及び御親會  
と清ませられ御親會館へ出御親會館へ出御親會館へ  
時、伊達館長は右御親の爲り宣ふ御内より  
りたうと

撰したる繪の重ね折其蓋の焼印比同時代金銀文庫案

書の印と繋ぎしものめて裏面に「東京上野御園水」

と付右書中より緊要の事項を抜萃するよと左の如し

風の式を倣ふて造りし者ありと云ふ

○ダラホニア侯　一昨日本紙上よりラバカ國王來航

云々を記載したるは誤闇にて國王の詩國マレー半島

のジョホール州マハラジャ(侯と云ふダ如し)ある由

尤も來着日限未だ知れざ共旅館は已ニ三田小山

町蜂須賀別邸と定め今事は仕度最中なりと云ふ

○伊藤參議　同客頭タ龍勤在留中ハ英國憲法の取扱

べふ從事しきの手筋のみは先年我國來遊にて東京

大學の法學教授さり博士クリスマー氏々助効せし

由龍勤支那ニキアレス又見へり

○佐野常民君　佐野元老院議長は病氣療養の爲り

一昨日豆州熱源温泉へ赴むかきり

○佐野常民君　佐野元老院議長は病氣療養の爲り

無一君へ電報を以て富山縣大書記官を轉任の旨を通

せられたり

○内藤彦助君　新橋鐵道局詰内藤彦助君は一昨日工

部省准奏任御用掛を命ぜられ更に日本鐵道會社へ雇

入となりたり

○赴任　平川五等驛官　大坂出張所局長として

不日同地へ赴むくよし

○馬朝　兼て歐洲周遊中の板垣退助、後藤象太郎

の兩君は五月初旬英國より米國を渡航し暫時同遊へ

滞在過ぐも六月中旬迄は歸朝の筈なりと

○牛堀卓造君　同君が歸朝するに際し前號も電

報に佳記載あるが同君は本日八日朝鮮京城を發し

渡物泊お起て軍艦比叡艦も乘組同十二日長崎着同十

六日長崎被神戸と經て昨日午前五時相模南丸まで横

濱へ着陸直る入京したり尤同君ハ舊時鎌京の上再度

○自由黨大演説景況　昨日久松座に自由黨大演説會

ハ前會同様溝塗立難の地もあり程に大入にて演説者

十六名午前十一時過より始まり午後五時過終り

○牛堀卓造君　同君が歸朝するに際し前號も電

報に佳記載あるが同君は本日八日朝鮮京城を發し

渡物泊お起て軍艦比叡艦も乗組同十二日長崎着同十

六日長崎被神戸と經て昨日午前五時相模南丸まで横

濱へ着陸直る入京したり尤同君ハ舊時鎌京の上再度

○本國海軍擴張　本國華盛頓四月十一日表の信書

ふ曰く當米國政府よがれ近來漸く海軍擴張の注意

し昨年の國會が蘇洋鋼鐵製造にて海軍省中より

よりしが今回國會の開催より僅り造船費として千八百

艘送船一般を購進す

海軍擴張の第ニ歩みハ

外ふ鹽省を贈り行ひ

渡し

○米國印紙の肖像

便印紙の表面かは大

成同氏タ因くあれど

事務の官保を用ひ

ひる由ゆて來月上

○銀行觀察　此度

資本も成りえか

わらんとの目論見

○私立衛生會　開